

消 防 予 第 75 号
平成 30 年 3 月 13 日

各都道府県消防防災主管部長 } 殿
東京消防庁・各指定都市消防長 }

消 防 庁 予 防 課 長
(公 印 省 略)

小規模社会福祉施設等に係る実態調査の結果について

社会福祉施設等におけるスプリンクラー設備等の設置基準については、消防法施行令の一部を改正する政令（平成 25 年政令第 368 号）により改正が行われ、消防法施行令（昭和 36 年政令第 37 号。以下「令」という。）別表第一（6）項口に掲げる防火対象物で、床面積 275 m²未満のもの（令別表第一（6）項口（2）、（4）、（5）の防火対象物にあつては、自力避難が困難な要介護者等を主として入居させるもの以外のものを除く。）についてスプリンクラー設備の設置が義務付けられたところです。当該政令の改正を踏まえ、「小規模社会福祉施設等に係る実態調査の結果について（通知）」（平成 29 年 10 月 16 日付け消防予第 316 号）によりスプリンクラー設備の設置状況を取りまとめたところですが、改めて「小規模社会福祉施設等に係る実態調査の実施について」（平成 29 年 12 月 13 日付け消防予第 373 号）により実施した調査結果を、別添 1 から 3 のとおり取りまとめましたので、お知らせします。

当該政令改正によりスプリンクラー設備の設置義務が新たに生じた既存施設に対する経過措置期限が平成 30 年 3 月 31 日になっていることを踏まえ、引き続き施設関係者に対する指導を進めていただきますようお願いいたします。

各都道府県消防防災主管部長におかれましては、貴都道府県内の市町村等（消防の事務を処理する一部事務組合等を含む。）に対しても、この旨周知していただきますようお願いいたします。

消防庁予防課設備係
担当：四維、坂井
電話：03-5253-7523
FAX：03-5253-7533

延べ面積275㎡未満の(6)項口におけるスプリンクラー設備の設置状況について

別添1

	都道府県	施設総数 A	設置義務数		設置率 E=C/B	平成29年度末 時点での措置見 込み(施設数) F	平成29年度末 時点での措置率 (見込み) G=(C+F)/B	
			B	設置済 C				未設置 D
1	北海道	444	435	325	110	74.7%	98	97.2%
2	青森県	101	96	83	13	86.5%	12	99.0%
3	岩手県	119	109	87	22	79.8%	21	99.1%
4	宮城県	274	264	177	87	67.0%	84	98.9%
5	秋田県	141	133	121	12	91.0%	12	100.0%
6	山形県	68	66	51	15	77.3%	14	98.5%
7	福島県	123	122	84	38	68.9%	38	100.0%
8	茨城県	191	184	133	51	72.3%	51	100.0%
9	栃木県	118	118	105	13	89.0%	12	99.2%
10	群馬県	153	153	129	24	84.3%	19	96.7%
11	埼玉県	356	352	264	88	75.0%	71	95.2%
12	千葉県	570	562	390	172	69.4%	162	98.2%
13	東京都	521	509	186	323	36.5%	323	100.0%
14	神奈川県	779	766	483	283	63.1%	196	88.6%
15	新潟県	91	90	87	3	96.7%	3	100.0%
16	富山県	63	62	54	8	87.1%	7	98.4%
17	石川県	86	84	80	4	95.2%	4	100.0%
18	福井県	48	48	41	7	85.4%	6	97.9%
19	山梨県	49	48	34	14	70.8%	14	100.0%
20	長野県	204	201	152	49	75.6%	48	99.5%
21	岐阜県	156	142	125	17	88.0%	16	99.3%
22	静岡県	153	147	100	47	68.0%	43	97.3%
23	愛知県	374	362	222	140	61.3%	138	99.4%
24	三重県	145	143	105	38	73.4%	35	97.9%
25	滋賀県	125	121	107	14	88.4%	14	100.0%
26	京都府	137	133	92	41	69.2%	41	100.0%
27	大阪府	783	677	319	358	47.1%	344	97.9%
28	兵庫県	229	213	138	75	64.8%	75	100.0%
29	奈良県	112	108	91	17	84.3%	7	90.7%
30	和歌山県	108	108	93	15	86.1%	14	99.1%
31	鳥取県	67	67	62	5	92.5%	5	100.0%
32	島根県	59	57	53	4	93.0%	4	100.0%
33	岡山県	175	175	149	26	85.1%	26	100.0%
34	広島県	143	142	121	21	85.2%	20	99.3%
35	山口県	97	96	83	13	86.5%	12	99.0%
36	徳島県	42	40	37	3	92.5%	3	100.0%
37	香川県	65	64	56	8	87.5%	7	98.4%
38	愛媛県	139	136	116	20	85.3%	20	100.0%
39	高知県	59	58	48	10	82.8%	7	94.8%
40	福岡県	405	385	304	81	79.0%	75	98.4%
41	佐賀県	255	254	210	44	82.7%	41	98.8%
42	長崎県	182	171	158	13	92.4%	11	98.8%
43	熊本県	255	249	211	38	84.7%	37	99.6%
44	大分県	76	75	57	18	76.0%	18	100.0%
45	宮崎県	228	225	170	55	75.6%	50	97.8%
46	鹿児島県	279	273	251	22	91.9%	17	98.2%
47	沖縄県	224	220	117	103	53.2%	102	99.5%
	全国	9,571	9,243	6,661	2,582	72.1%	2,377	97.8%

※調査は、平成29年12月1日時点における全国の消防本部が把握している状況を取りまとめたものです。

※平成29年度末時点の措置としては、スプリンクラー設備を設置する他、パッケージ型自動消火設備を設置する、火災発生時の延焼を抑制する機能を備える構造を有するように改修する等の措置が含まれます。

延べ面積275㎡未満の(6)項口(1)におけるスプリンクラー設備の設置状況について

別添2

	都道府県	施設総数 A	設置義務数 B		設置率 E=C/B	平成29年度末 時点での措置見 込み(施設数) F	平成29年度末 時点での措置率 (見込み) G=(C+F)/B	
			設置済 C	未設置 D				
1	北海道	200	196	156	40	79.6%	36	98.0%
2	青森県	83	83	72	11	86.7%	10	98.8%
3	岩手県	79	79	66	13	83.5%	13	100.0%
4	宮城県	212	210	137	73	65.2%	70	98.6%
5	秋田県	114	107	99	8	92.5%	8	100.0%
6	山形県	50	50	38	12	76.0%	11	98.0%
7	福島県	108	108	79	29	73.1%	29	100.0%
8	茨城県	125	125	98	27	78.4%	27	100.0%
9	栃木県	67	67	58	9	86.6%	9	100.0%
10	群馬県	116	116	98	18	84.5%	15	97.4%
11	埼玉県	193	189	114	75	60.3%	61	92.6%
12	千葉県	392	389	251	138	64.5%	132	98.5%
13	東京都	440	430	150	280	34.9%	280	100.0%
14	神奈川県	440	432	240	192	55.6%	116	82.4%
15	新潟県	66	66	63	3	95.5%	3	100.0%
16	富山県	45	45	38	7	84.4%	6	97.8%
17	石川県	52	52	52	0	100.0%	0	100.0%
18	福井県	35	35	30	5	85.7%	4	97.1%
19	山梨県	25	25	12	13	48.0%	13	100.0%
20	長野県	126	123	95	28	77.2%	28	100.0%
21	岐阜県	110	107	96	11	89.7%	10	99.1%
22	静岡県	113	113	79	34	69.9%	32	98.2%
23	愛知県	189	183	98	85	53.6%	85	100.0%
24	三重県	93	93	69	24	74.2%	23	98.9%
25	滋賀県	87	87	77	10	88.5%	10	100.0%
26	京都府	44	44	37	7	84.1%	7	100.0%
27	大阪府	276	258	162	96	62.8%	95	99.6%
28	兵庫県	149	138	88	50	63.8%	50	100.0%
29	奈良県	58	58	52	6	89.7%	1	91.4%
30	和歌山県	56	56	42	14	75.0%	13	98.2%
31	鳥取県	38	38	34	4	89.5%	4	100.0%
32	島根県	38	38	36	2	94.7%	2	100.0%
33	岡山県	126	126	109	17	86.5%	17	100.0%
34	広島県	106	106	96	10	90.6%	10	100.0%
35	山口県	87	86	73	13	84.9%	12	98.8%
36	徳島県	30	29	26	3	89.7%	3	100.0%
37	香川県	52	52	45	7	86.5%	6	98.1%
38	愛媛県	106	105	92	13	87.6%	13	100.0%
39	高知県	47	47	42	5	89.4%	5	100.0%
40	福岡県	309	305	240	65	78.7%	60	98.4%
41	佐賀県	234	234	192	42	82.1%	39	98.7%
42	長崎県	133	132	127	5	96.2%	5	100.0%
43	熊本県	193	193	157	36	81.3%	35	99.5%
44	大分県	66	65	48	17	73.8%	17	100.0%
45	宮崎県	208	207	155	52	74.9%	47	97.6%
46	鹿児島県	235	233	214	19	91.8%	16	98.7%
47	沖縄県	218	216	113	103	52.3%	102	99.5%
	全国	6,369	6,276	4,545	1,731	72.4%	1,590	97.8%

※調査は、平成29年12月1日時点における全国の消防本部が把握している状況を取りまとめたものです。

※平成29年度末時点の措置としては、スプリンクラー設備を設置する他、パッケージ型自動消火設備を設置する、火災発生時の延焼を抑制する機能を備える構造を有するように改修する等の措置が含まれます。

延べ面積275㎡未満の(6)項口(5)におけるスプリンクラー設備の設置状況について

別添3

	都道府県	施設総数 A	設置義務数 B		設置率 E=C/B	平成29年度末 時点での措置見 込み(施設数) F	平成29年度末 時点での措置率 (見込み) G=(C+F)/B	
			設置済 C	未設置 D				
1	北海道	240	237	169	68	71.3%	60	96.6%
2	青森県	17	13	11	2	84.6%	2	100.0%
3	岩手県	32	28	20	8	71.4%	7	96.4%
4	宮城県	58	51	37	14	72.5%	14	100.0%
5	秋田県	24	23	19	4	82.6%	4	100.0%
6	山形県	18	16	13	3	81.3%	3	100.0%
7	福島県	9	9	5	4	55.6%	4	100.0%
8	茨城県	64	57	34	23	59.6%	23	100.0%
9	栃木県	50	50	46	4	92.0%	3	98.0%
10	群馬県	35	35	29	6	82.9%	4	94.3%
11	埼玉県	162	162	149	13	92.0%	10	98.1%
12	千葉県	175	170	138	32	81.2%	28	97.6%
13	東京都	81	79	36	43	45.6%	43	100.0%
14	神奈川県	335	330	239	91	72.4%	80	96.7%
15	新潟県	22	22	22	0	100.0%	0	100.0%
16	富山県	17	17	16	1	94.1%	1	100.0%
17	石川県	33	31	27	4	87.1%	4	100.0%
18	福井県	12	12	11	1	91.7%	1	100.0%
19	山梨県	21	20	19	1	95.0%	1	100.0%
20	長野県	74	74	53	21	71.6%	20	98.6%
21	岐阜県	43	33	27	6	81.8%	6	100.0%
22	静岡県	39	33	20	13	60.6%	11	93.9%
23	愛知県	179	177	122	55	68.9%	53	98.9%
24	三重県	50	49	35	14	71.4%	12	95.9%
25	滋賀県	32	31	28	3	90.3%	3	100.0%
26	京都府	92	88	54	34	61.4%	34	100.0%
27	大阪府	498	412	155	257	37.6%	244	96.8%
28	兵庫県	76	71	47	24	66.2%	24	100.0%
29	奈良県	54	50	39	11	78.0%	6	90.0%
30	和歌山県	52	52	51	1	98.1%	1	100.0%
31	鳥取県	27	27	26	1	96.3%	1	100.0%
32	島根県	18	18	16	2	88.9%	2	100.0%
33	岡山県	47	47	39	8	83.0%	8	100.0%
34	広島県	36	35	24	11	68.6%	10	97.1%
35	山口県	10	10	10	0	100.0%	0	100.0%
36	徳島県	12	11	11	0	100.0%	0	100.0%
37	香川県	12	11	10	1	90.9%	1	100.0%
38	愛媛県	31	29	24	5	82.8%	5	100.0%
39	高知県	12	11	6	5	54.5%	2	72.7%
40	福岡県	92	76	60	16	78.9%	15	98.7%
41	佐賀県	20	20	18	2	90.0%	2	100.0%
42	長崎県	49	39	31	8	79.5%	6	94.9%
43	熊本県	57	57	49	8	86.0%	2	89.5%
44	大分県	9	9	8	1	88.9%	1	100.0%
45	宮崎県	17	16	13	3	81.3%	3	100.0%
46	鹿児島県	41	38	35	3	92.1%	1	94.7%
47	沖縄県	6	4	4	0	100.0%	0	100.0%
	全国	3,090	2,890	2,055	835	71.1%	765	97.6%

※調査は、平成29年12月1日時点における全国の消防本部が把握している状況を取りまとめたものです。

※平成29年度末時点の措置としては、スプリンクラー設備を設置する他、パッケージ型自動消火設備を設置する、火災発生時の延焼を抑制する機能を備える構造を有するように改修する等の措置が含まれます。